

2009年3月13日～2016年8月16日の間に川崎医科大学附属病院で  
加齢黄斑変性と診断され、抗VEGF抗体硝子体内投与を受けられた患者さんへのお知らせ

### 課題名：加齢黄斑変性に対する抗VEGF抗体硝子体内投与の治療成績

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2009年3月13日～2016年8月16日の間に、当院において加齢黄斑変性と診断され、抗VEGF抗体硝子体内投与を受けられた患者さんについて、治療成績を検討するための後方視的調査研究を実施します。

本治療方法の有効性・安全性や予後因子を明らかにすることを目的としています。

研究期間は、倫理委員会承認日～2017年3月31日です。

治療介入を行わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。研究成果は学会や学術雑誌に発表することがあります。しかし、匿名化を行った後に解析されますので、個人情報が外部に漏れることはありません。また、資料の取り扱いには当教室のみで行い、外部に提供されることはありません。

なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

研究するために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反といいます。

本教室は抗VEGF抗体薬（Ranibizumab）の販売元ノバルティス株式会社のグループ企業である日本アルコン株式会社と抗VEGF抗体薬（Aflibercept）の販売元である参天製薬株式会社、他、Pfizer株式会社、HOYA株式会社より、奨学寄附金の受入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。また結果の発表時には事実関係を明示する事となっております。なお、Pfizer株式会社、HOYA株式会社は、本研究課題に直接関係は無い企業です。

本研究課題を実施する研究者鎌尾浩行は公益信託三島済一記念眼科研究国際交流基金より、研究助成金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

#### 【問い合わせ先】

担当者：所属 眼科学1 職名 講師 氏名 鎌尾浩行

TEL：086-462-1111（内線44321）

E-mail：hironeri@med.kawasaki-u.ac.jp